

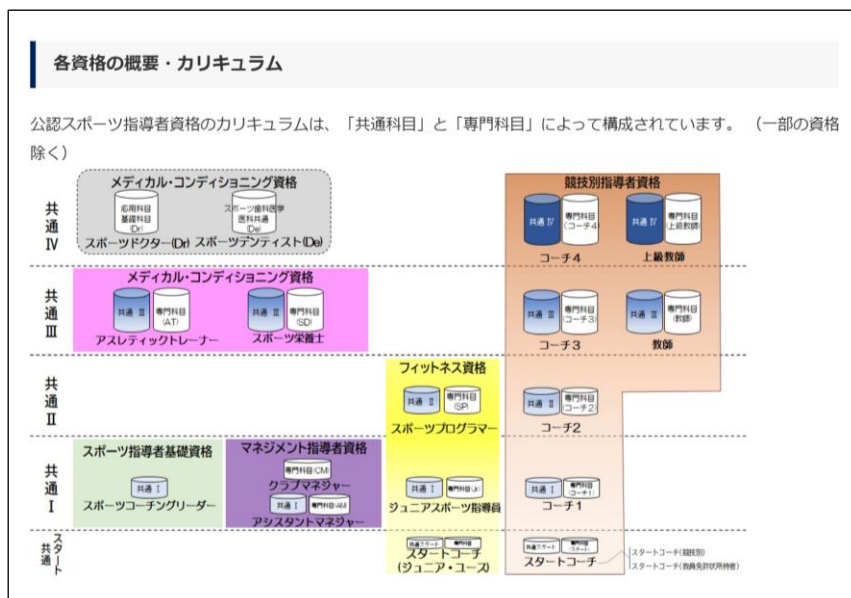
全国共通の課題 指導者発掘と養成

【指導者資格について】

地域スポーツにおいて指導する時、また部活動改革によって必要となる地域クラブ活動指導員、もしくは外部指導員は、青少年を指導するために無資格者が指導することは好ましい事ではありません。

そこで、資格取得を進めることが大切なことになります。

現在の日本スポーツ協会の指導者資格は右の図のようになっています。



出典：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者概要 < <https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid58.html> >

【県内で受講できる資格取得講習会】

1. スタートコーチ(ジュニア・ユース)

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・学校運動部活動等において、必要最低限度の知識・技能に基づき、子どもたちにスポーツ・運動(遊び)の楽しさ、安全・安心な活動を提供する方のための資格です。

毎年、群馬県スポーツ協会において8月と12月に開催しています。

この資格を取得した後に、ジュニアスポーツ指導員・種目別のコーチ1等の資格取得することが良いと思います。

2. アシスタントクラブマネジャー

部活動改革において組織される運営主体、総合型地域スポーツクラブ等において、地域と学校を繋ぐコーディネーター役としてまた、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるように、クラブマネジャを補佐して、クラブマネジメントの諸活動をサポートする方のための資格です。

群馬県スポーツ協会において、毎年11月末頃から12月初旬にかけて開催しています。

3. スポーツ少年団人材育成システム(青少年期から育成します)

ジュニア・リーダースクールは、毎年、群馬県スポーツ少年団として9月に開催しています。高校生以上になって「シニア・リーダースクール」を修了して20歳を超えるとスタートコーチとしての資格が付与されます。

指導者を各地域において自前で青少年期から養成できる重要なシステムです。

リーダーとは？

日本スポーツ少年団では、各単位スポーツ少年団の活動における団員のまとめ役や、指導者と協力してチームを育てていく役割などを担う「リーダー」を育成しています。

将来のスポーツ少年団指導者を育成することを目的に、日本スポーツ少年団独自の資格である「ジュニア・リーダー」、「シニア・リーダー」を認定しています。

ジュニア・リーダー

- 小学5年生～中学生
- 指導者と団員をつなぎ、団員のなかで中心となって活動する



シニア・リーダー

- 高校生～大学生年代
- ジュニア・リーダーが担う役割に加え、市区町村や都道府県においても活動し、地域のなかで中心的に活動する



少年団指導者 スタートコーチ (スポーツ少年団)

- シニア・リーダー資格を持ち、規定に定める要件を満たした場合、「スタートコーチ（スポーツ少年団）」養成講習会の受講を免除することができる



新町スポーツクラブで活躍するシニアリーダー達